

東北支社 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和6年3月7日（木） 東北支社11階 会議室	
委員	運上 茂樹（東北大学大学院教授） 笹村 恵司（弁護士） 古川 直磨（公認会計士・税理士） 齋藤 幹治（東北経済連合会 専務理事） 辻田 芳幸（東北学院大学教授）※欠席 河野 達仁（東北大学大学院教授）	
審議対象期間	令和5年4月1日～令和5年9月30日	
抽出案件	総件数【6件】	備 考
○工事	【4件】	
・一般競争	1件	秋田自動車道 黒沢川橋（PC上部工）工事
・条件付一般競争	1件	常磐自動車道 R5仙台東管内構造物補修工事
・条件付一般競争 （指名併用型）	1件	常磐自動車道 浪江工事
・随意契約	1件	磐越自動車道 七折トンネル照明設備更新工事
○調査等	【1件】	常磐自動車道 相馬地区構造物基礎調査
○物品等	【1件】	ハイウェイフェスタとうほく2023運営業務
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p><u>【入札監視統一事務局における工事審査実施状況報告】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見等なし</li> </ul> <p><u>【入札契約状況報告】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見等なし</li> </ul> <p><u>【競争参加資格停止等運用状況一覧表報告】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見等なし</li> </ul> <p><u>【資格取消等状況一覧表報告】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> </ul> <p><u>【一次苦情及び一次説明処理状況表報告】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> </ul> <p><u>【談合情報について】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> </ul> <p><u>【抽出事案の審議】</u></p> <p><u>「秋田自動車道 黒沢川橋（PC上部工）工事」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術提案評価型において技術評価点が最も高かった者であっても入札価格が調査基準価格を下回る場合、価格評価点が0点となり落札出来ない結果となっているがやむを得ないのか。技術評価点が高かった者の価格評価点を評価するような手法を検討しては如何か。</li> <li>・技術評価の項目のなかで、一部、不採用“0点”の項目があるが、このような場合でも成立はするのか。</li> <li>・本工事では3橋まとめて工事を行うこととしているが適正か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札価格が調査基準価格を下回る場合、評価点を付さない制度を設けているためこのような結果となっています。今後も、入札結果を踏まえ、適切な方式を検討するよう努めてまいります。</li> <li>・評価上は加点がされないということであって、不適とはなりません。</li> <li>・施工箇所が近接する同種の橋梁を一括発注しており、発注単位としては適正と考えております。</li> </ul>

<p>「常磐自動車道 R5 仙台東管内構造物補修工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事实績評価型実績Ⅱ型において評価内容の災害時の協力実績は高速道路会社から依頼がなければ実績とならないのか。競争参加者が自ら実績を作ることは可能か。</li> </ul> <p>「常磐自動車道 浪江工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動落札方式において調査基準価格を下回る場合でも落札者として決定するとの事だが、総合評価落札方式との違いはどう考えるのか。価格競争だけでは低入札価格による落札者が増えるのではないか。</li> </ul> <p>「磐越自動車道 七折トンネル照明設備更新工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本件はトンネル照明設備更新工事として発注をされていますが、工事内容に別のトンネルの高圧電線路の仮設撤去が含まれている理由は。</li> <li>・本件は入札不成立のため随意契約を行ったものだが、不成立となったことに対し分析は行っているか。</li> </ul> <p>「常磐自動車道 相馬地区構造物基礎調査」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合評価型において企業の同種業務の成績及び配置予定管理技術者の同種業務の成績について、NEXCO東日本や国土交通省以外の場合は評価をしない理由は。</li> </ul> <p>「ハイウェイフェスタとうほく2023 運営業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見等なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時に当社からの依頼に対し承諾を頂き応急復旧などの実績があれば加点されます。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合評価落札方式は技術と入札価格をそれぞれ評価して点数を与えて総合的に評価するものに対し、自動落札方式は価格競争になりますが、調査基準価格を下回る場合は、低入札価格調査を行ったうえで落札者を決定しておりますが、ご意見として賜ります。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別件で発注するよりは、電気工事をまとめた方が合理的に実施できると判断をし、発注しております。</li> <li>・確認はできませんが、発注時期や技術者の配置など競争参加者側において社内的な課題があったのではないかと推測しております。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、当社で定めている制度がそのようになっていますが、ご意見として賜ります。</li> </ul>
<p>審議結果の報告</p>	<p>審議案件個別について、入札の事務手続きについて特段の疑義はないものと認められます。</p> <p>一方で、調査等においてNEXCO東日本や国土交通省以外の実績に対する評価手法などを検討頂ければと思います。</p>